

避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票（レベル2）の作成及び更新情報

2013. 7. 28 ○ 「災害時公衆衛生歯科機能について考える盛岡ワークショップ」開催（盛岡市）
○ 行政、大学、歯科医師会関係者等 20 名参加
○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）の必要項目について検討
2013. 9. 28 ○ 続・盛岡ワーク「災害時避難所等口腔保健アセスメント標準化を考えるワークショップ」開催（横浜市）
○ 行政、大学、歯科医師会関係者等 18 名参加
○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）の素案をもとに各項目の内容について協議
2013. 9. 29 ○ 電話、電子メール等による調整（暫定案作成に向けて）
～10. 17
2013. 10. 17 ○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）暫定案 Ver. 1. 0 の作成
2013. 12. 13 ○ 暫定案から暫定版に格上げ。併せて Ver. を 1. 0 から 1. 1 に更新。
○ 更新箇所
- ・ アセスメント票の名称
「避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）」
→ 「避難所等歯科口腔保健 **標準アセスメント票（レベル 2）**」
 - ・ **左余白の拡大**（綴じ代を確保するため）
 - ・ 右上隅に「**No.** 」欄の追加（整理番号記入欄）
 - ・ 項目(4)の項目の名称
「(1)の口腔清掃ができていますか」→「(1)の**者の口腔清掃状況**」
 - ・ 項目(4)の確認項目 d の名称
「障害児者・要介護者の介助」→「障**が**い児者・要介護者の介助」
 - ・ 項目(6)の確認項目 b の名称
「巡回歯科チーム」→「巡回歯科チーム**への受診**」
2015. 01. 31 ○ 暫定版から正式版に格上げ（暫定版をとる）。併せて Ver. を 1. 1 から 2. 0 に更新。
- 更新箇所
- ・ 「Ver. 」の記載を下端右に移動し、「災害時公衆衛生歯科機能を考える会 **標**

準化 Ver. 2.0」とする。

- ・ 避難所名（施設名）→避難所等の名称（用語の統一）
- ・ 避難者数→避難者等の人数（用語の統一）
- ・ 責任者氏名→避難所等の責任者氏名（避難所等の責任者氏名欄であることを明確にするため）
- ・ 評価時在所避難者数→評価時在所避難者等の人数（用語の統一）
- ・ 評価時在所避難者数の記入欄を右揃え（記入スペースを確保するため）
- ・ 情報収集法の項目
「避難者からの聞き取り」→「避難者等からの聞き取り」（用語の統一）
- ・ 項目(1)の確認項目 a の名称
「乳幼児」→「乳幼児（就学前）」（区分を明確にするため）
- ・ 項目(1)の特記事項「※再確認！」の削除（再確認の意味がわかりにくいので、再確認の意味は記入例に記載することとする）
- ・ 項目(4)の項目の名称
「(1)の者の口腔清掃状況」→「口腔清掃状況」
「(1)の者の」の削除（避難者全体の評価をするため）
- ・ 項目(5)の確認項目 a～c の選択肢
1 いない, 2 いる（約 人）, 3 不明
↓
1 いる（約 人）, 2 確認できない
- ・ 項目(6)の確認項目 a の名称及び選択肢
「a 歯科診療所や仮設歯科診療所への受診」 1 容易, 2 不便*, 3 施設ない, 4 不明
*（具体的に： ）
↓
「a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等」
1 あり, 2 ない, 3 不明
- ・ 項目(6)の確認項目 b の名称及び選択肢
「b 巡回歯科チームへの受診」 1 容易, 2 不便*, 3 巡回ない, 4 不明
*（具体的に： ）
↓
「b 巡回歯科チームの訪問」 1-①あり(定期的), 1-②あり(不定期),
2 ない, 3 不明
(項目(6)の確認項目 a, b において補足が必要な場合は、特記事項に記載することとする)
- ・ 下端中央に「(〇〇県・〇〇県歯科医師会)」を追加
- ・ 本票裏面に、「本アセスメント票を活用する前の確認事項」を追加